

# 平成30年10月 データから見た業界の動き

## ■ 概 況

10月の山梨県内のD I値は、全体で売上高は10ポイント、収益状況は0ポイント、景況感は一14ポイントとなり、前年比・前月比共に売上高は改善したが景況感は悪化した。

製造業では、中部横断自動車道関連工事のコンクリート等の原料である砂利・山砕石の出荷量が好調である一方で、工作機械部品加工業では半導体・液晶製品において発注量の減少が続いていることから先行きの不透明感が強く、宝飾業界では出展した展示会、各種イベントでの取引不振の影響があり、景況感は一前年同月比で-35ポイントと大きく低下した。

非製造業では、売上や景況感は一前年比、前月比共に改善しているが、建設業で年末に向けて多くの大型公共工事や住宅着工件数の増加がある一方で、人材不足や資材の在庫不足が課題であるとの報告があり、宿泊業は秋の行楽シーズンによる宿泊客の増加や、運輸業は県内イベントによるタクシー利用者の増加があり売上が伸びた反面、燃料費が高騰し収益に結びつかず厳しいとの報告があった。

多くの業界では人手不足の深刻化が続く中で、来年4月から順次施行される働き方改革への取り組みや、来年10月からの消費税増税への対応など、中小企業の経営環境はより厳しさを増すことが予想され、経営者の負担を軽減させる施策（人材確保への取り組み、取引力の強化支援等）が求められている。

## ■ 業界からのコメント （業界ごとの詳細は、以下のコメントを参照）

### ● 製 造 業

食料品（水産物加工）	自然災害の影響から、業務用の前年同月比の売上は低調。おせちは先月低迷した反動から増加し、全体の売上は前年同月比101.8%。
食料品（洋菓子製造）	自社製品の輸出向けは落ち込んだ。専門店向け及び量販店向けが先月低迷した反動から前年同月比102.6%。OEMは冷凍ケーキが不調だが、焼き菓子が好調で125.6%。全体では前年同月比113.1%。
食料品（麺類製造）	「ほうとう」が県民になかなか食べられていない状況のため、新しい食べ方など魅力を発信をしていきたい。
食料品（パン・菓子製造業）	原油価格の高騰からボイラーで使用する灯油価格も高騰し苦慮している。繁忙期だが人手確保が難しい。
食料品（酒類製造業）	ワイン用のブドウの仕込みがほぼ終了した。8月は好天に恵まれたが9月は降雨が続いたため、9月後半に収穫されたブドウを使ったワインの品質を心配している。
木材・木製品製造	働き方改革が施行されるが、納期がある業種なので発注者に迷惑をかけない様、従業員との話し合いを行い生産性の維持に努める。経営者の負担が増加することを懸念している。
印刷・同関連業	県知事選、統一地方選、元号の変更等、印刷業界への受注増大が期待できる。

窯業・土石（砂利）	骨材の需要は多いが、台風の影響から原石を採取できない状況が続き在庫不足が一層進む。売上高は前年同月比で30%増加。
窯業・土石（山碎石）	中部横断自動車道工事が終盤に差し掛かり、舗装用石材の需要が低迷。本年度発注工事に要するコンクリート資材の動きはなく先行き不透明。
鉄鋼・金属 （金属被覆・彫刻業・熱処理業）	後継者や人材の確保が厳しい状況である。半導体関連・通信機器は、受注調整が行われており、今後の状況に注視していく。
電気機器 （工作機械部品加工業）	半導体、液晶製造装置関連の受注は動きが無い。医療関係は減少傾向であるが比較的安定した受注がある。年末にかけて厳しい状況が続くと考えている。
宝飾（研磨）	展示会・各種イベント等の販売不振から売上高は前年同月比で30%悪化した。
宝飾（貴金属）	受注の減少から売上高は前年同月比で20%悪化した。

### ● 非製造業

卸売（ジュエリー）	国内の流通は悪い。10月に開催された秋の国際宝飾展に出展したが売上につながらなかった。来年、消費税増税後は更に厳しい状況になることが予想される。
小売（青果）	台風の影響から、葉物野菜の値上がりが激しく、売上高は23.7%増加したが収益状況は悪化した。果物はブドウの評判がよく、売上高、収益状況共に増加した。
小売（食肉）	前年同月比で国産豚の仕入相場が安くなっているため多少の収益状況の改善につながっている。
小売 （電気機械器具小売業）	エアコンの注文が引き続き好調で、売上高が2%増加した。
小売 （ガソリン）	原油価格の高騰により、小売価格も急上昇している。
商店街	商店街の再生にむけて行政と協議を行っている。
宿泊業	10月は秋の行楽シーズンであり、天候が安定していたため週末は満室のホテル・旅館が多かった。来月は紅葉シーズンに入るため、この状況が継続すること期待している。
美容業	独立希望の従業員が前年と比較すると約3割減少している。店舗の売上は固定客ばかりのため変化なし。
一般廃棄物処理	働き方改革の「残業時間の削減」や「有給休暇の取得強化」により労働力確保・事業の維持が難しい。
警備業	10月は天候に恵まれた他、警備員不足による単価の上昇により売上高は前年同月比で10%増加した。現在受注している物件は長期工事が多く、さらに年度末には公共工事が増加が考えられるため、警備員の時間外労働の抑制、休日の確保の対応から需要に対応できない恐れがある。
建設業（総合）	10月の県内公共工事動向によると、前年同月比で件数は2%、請負金額は21%減少しているものの、10月末累計では件数は4件、請負金額は12%増加している。

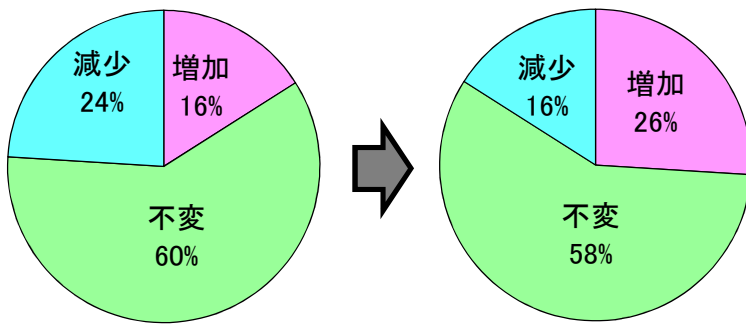
建設業（型枠）	年末に向けて多くの大型公共工事の入札が続いている。消費税増税の影響から設備投資に向けた大型工場などの物件が多く、今後さらに人手不足が懸念される。
建設業（鉄構）	鋼材・資材の在庫不足。県内の受注が少なく県外の物件に依存している状況が続いている。
設備工事（電気工事）	住宅着工件数は約1年ぶりに増加傾向だが、公共施設の受注は横ばい。業績全体からみると上向きの変動要素はない。
運輸（タクシー）	甲府開府500年記念パレードをはじめ県内の催し事に多くの人に参加した影響からタクシー利用者が増加した。燃料費の高騰が経営に深刻な影響を及ぼしている。

■ 対前年同月比及び前月比景気動向D I 値（好転又は増加の割合から、悪化又は減少の割合を引いた値）

対前年・前月・当月	製 造 業			非 製 造 業			合 計		
	2017/10	2018/09	2018/10	2017/10	2018/09	2018/10	2017/10	2018/09	2018/10
売 上 高	-5	-5	5	-10	-7	13	-8	-6	10
収 益 状 況	0	-5	0	-13	3	0	-8	0	0
景 況 感	10	0	-25	0	-3	7	4	-2	-14

※((良数値÷対象数)×100) - ((悪数値÷対象数)×100) = D.I 値

売 上 高 (前年同月比)

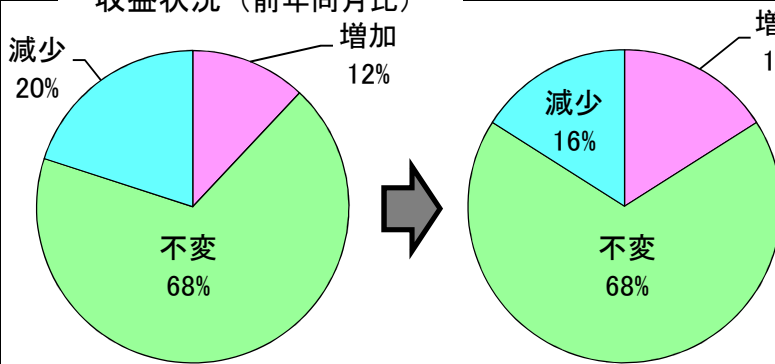


平成29年10月

平成30年10月

- ・ D I 値 +10 (前年同月比+18)
- ・ 業種別 D I 値
  - 製 造 業 +5 (前年同月比+10)
  - 非製造業 +13 (前年同月比+23)
- ・ 前月比 D I 値
  - 製 造 業 +10
  - 非製造業 +20

収 益 状 況 (前年同月比)

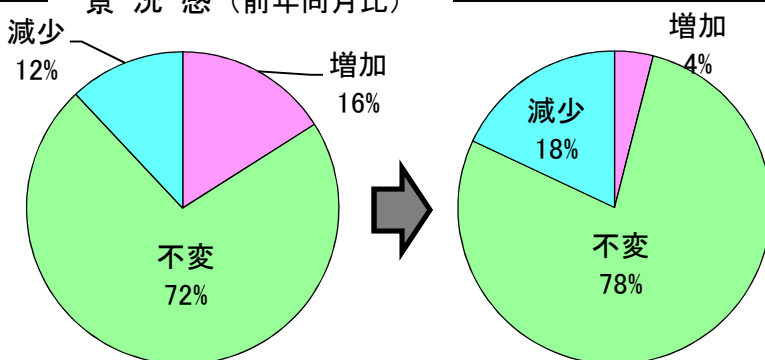


平成29年10月

平成30年10月

- ・ D I 値 ±0 (前年同月比+8)
- ・ 業種別 D I 値
  - 製 造 業 ±0 (前年同月比±0)
  - 非製造業 ±0 (前年同月比+13)
- ・ 前月比 D I 値
  - 製 造 業 +5
  - 非製造業 ▲3

景 況 感 (前年同月比)



平成29年10月

平成30年10月

- ・ D I 値 ▲14 (前年同月比▲18)
- ・ 業種別 D I 値
  - 製 造 業 ▲25 (前年同月比▲35)
  - 非製造業 ▲7 (前年同月比▲7)
- ・ 前月比 D I 値
  - 製 造 業 ▲25
  - 非製造業 ▲4